ＴＰＰ断固反対
農業・農協改革反対
共同の輪を広げよう

農協労働者

北海道単位農業協同組合・農業共済組合
労働組合連合会（道農協労連）機関紙
毎月１日発行　１部30円
札幌市中央区北４条西１丁目　共済ビル４階
Tel. 011（232）0676
Fax. 011（232）2355
URL：http://donokyororen. jp
E－mail：mail@donokyororen. jp
発行責任者　九　村　信　吾

いま、あらためて 労働時間を考える

全農協労連 メーデースローガン

働くものの団結で生活と権利を守り 平和と民主主義、中立の日本をめざそう

5月1日は、労働者の祭典「メーデー」です。メーデーは、今から約130年前に「一日8時間労働」を勝ち取るため、全米の労働者がたたかった大規模なストライキがメーデーの起源です。

当時、働く者を守るルールはほとんどなく、長時間労働が深刻でした。どの国でも労働者は一日10数時間も労働を強いられており、8時間労働は労働者にとって切実な願いとなっていました。

8時間労働制を守る為ストライキを実施

こうした中、全米の労働者が立ち上がりました。1886年5月1日、企業や産業、地域を越えたストライキ（ゼネスト）がシカゴを中心に展開され、全国で35万人もの労働者が結集。「8時間は労働に、8時間は眠りに、あとの8時間はわれわれの自由に」と歌い、デモ行進をしました。

米国の労働者は90年5月1日に再度ゼネストを行うことを決定。連帯して欧州など世界の労働者がストライキとデモに立ち上がりました。この「第1回国際メーデー」を経て、8時間労働制が世界共通の要求に。メーデーは国際的な労働者の団結の日となりました。

日本の第1回メーデーは1920年5月2日、東京の上野公園で開かれました。5千とも1万ともいわれる労働者が結集。失業防止、最低賃金法、シベリアからの即時撤兵などを求めました。

いま、8時間労働制が改悪の危機に

いま、政府が導入を進めている残業代ゼロ制度（ホワイトカラー・エグゼンプション）はメーデーの原点である「8時間労働制」を破壊するものです。

8時間労働制は労働者が勝ち取ってきた権利です。しかし、安倍政権は労働時間の規制を適用除外する新たな制度を導入する方針で、今国会での成立を狙っています。

8時間を超えて働いても残業代はなし。どれだけ働かせても経営者が罪に問われることもありません。たとえ過労死したとしても、長時間労働を証明することさえ困難になるのです。

いま本当に必要なことは、労働時間の上限規制であり、8時間労働制を職場に定着させることです。不払い残業などは論外です。

鵡川　ベア600円初任給9000円ＵＰ

猿払　55才以降、準職員の賃金改善実施

鵡川農協労組（西内敬宣委員長）は、今春闘で600円のベースアップを獲得。あわせて初任給9、000円の引き上げも獲得しました。また、今金町農協従組（水本和芳委員長代行）は住宅手当の1、000円増、猿払村（東宗谷）農協労組（桜庭正大委員長）では、55歳以降の待遇改善と準職員の賃金改善が実施されました。

鵡川農協労組は、胆振管内にあるトヨタ自動車北海道が2、000円のベースアップを実施したことから、ベースアップ2、000円を要求。しかし、農協からは、定期昇給のみ、現行通りという回答で、一度目の団体交渉においても「ベースアップは実施できない」という回答でした。

第2回目の団体交渉では、農協の販売高が過去最高を記録したことを評価してもらいたいと訴え、ベアを再度要求。また、今後有望な新人を確保する為には初任給を上げる必要があるとし、初任給の引き上げも訴えました。交渉の結果、ベースアップ一律600円、初任給9、000円の引き上げを獲得。労組員平均2、000円の賃上げを獲得しました。

猿払　正職員の賃上げを求め奮闘中

猿払村農協労組は、55歳以降、58歳で75％、59歳で100％カットされる定時手当について、58歳以降も50％に抑えるよう改善させました。また、準職員の定期昇給が、これまで給与表がなく、多い年で2、000円、少ない年は500円だったところを、賃金表を作成し、全職員一律4、000円の定期昇給実施を約束させました。

正職員の賃金改善については、2014年に労使間で協定を交わした「2015年4月1日からの給与表改定」に反して農協側から具体的な提案が無かった事から、労組から給与表改正案を提出しました。しかし、農協側からは、労組案は給与水準があまりに上がりすぎるという返答があり、労組は要求を再提出。再要求に対し、農協からは、今すぐの改定はできないという回答が返ってきた為、労組は協定書の内容を順守するよう抗議し、ベースアップ実施を要求していくこととしています。

（裏面に春闘一覧掲載）